

平成29年度定期作況報告

5月20日現在
道総研根釧農業試験場

I. 気象概況

前年11月から本年5月中旬までの気象の経過は、平年に比べておおむね次の通りである。

平成28年

11月：気温は上・下旬で極めて低く、中旬で平年並であった。降水量は上旬で平年並、中旬で少なく、下旬でやや少なかった。日照時間は全ての旬で平年並であった。

12月：気温は上・下旬で平年並、中旬で低かった。降水量は上・下旬で平年並、中旬でやや少なかった。日照時間は上・中旬で平年並、下旬でやや少なかった。根雪始は12月6日で平年より12日早かった。

平成29年

1月：気温は上・中旬でやや低く、下旬で平年並であった。降水量は上旬でやや少なく、中・下旬で平年並であった。日照時間は全ての旬で平年並であった。

2月：気温は上・下旬で平年並、中旬で高かった。降水量は上・下旬で平年並、中旬でやや少なかった。日照時間は上・下旬で平年並、中旬でやや少なかった。2月20日の土壌凍結深は2cmで平年より21cm浅く、積雪は53cmで平年より2cm少なかった。

3月：気温は上・下旬で平年並、中旬でやや低かった。降水量は上・中旬でやや少なく、下旬で平年並であった。日照時間は上・下旬で平年並、中旬でやや多かった。

4月：気温は上・下旬で平年並、中旬でやや高かった。降水量は上・下旬で極めて少なく、中旬でやや多かった。日照時間は上旬でやや多く、中・下旬で平年並であった。根雪終は4月11日で平年より3日遅かった。

5月上旬：最低気温は2.3℃で平年並であったが最高気温が20.0℃で平年より5.7℃高かったため、平均気温は10.7℃で平年より2.4℃高かった。降水量は5.0mmで平年より39.7mm少なかった。日照時間は93.4時間で平年より41.8時間多かった。

5月中旬：最高および最低気温は15.1および4.1℃でそれぞれ平年並であったため、平均気温は9.1℃で平年並であった。降水量は17.5mmで平年より29.3mm少なかった。日照時間は52.2時間で平年並であった。

各旬の気象の特徴は上記の通りであるが、寒候期（11月～4月）を平均すると気温・降水量・日照時間ともに平年並であった。根雪始が早かったことと厳しい冷え込みがなかったことなどから土壌凍結深が極めて浅かったことが特徴的であった。

季節調査

	平成28年			平成29年					
	初雪 (月日)	根雪始 (月日)	最深積雪 (cm)	2月20日			根雪終 (月日)	降雪終 (月日)	耕鋤始 (月日)
				土壌凍結深 (cm)	積雪 (cm)				
本年	10.20	12.6	86	2	53		4.11	4.27	5.1
平年	11.14	12.18	81	23	55		4.8	4.26	5.6
比較	△ 25	△ 12	5	△ 21	△ 2		3	1	△ 5

注1) 平年値は前10カ年平均値

2) △は減を示す

3) 最深積雪は根雪期間中の値

平成29年度 気象表

年	月	旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(時間)		
			本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差
28	11	上旬	0.6	6.3	-5.7	4.9	11.5	-6.6	-3.9	0.8	-4.7	45.5	40.0	5.5	5	3.5	1.5	40.3	43.8	-3.5
		中旬	2.5	3.4	-0.9	7.1	8.0	-0.9	-2.4	-1.7	-0.7	7.0	34.6	-27.6	2	3.7	-1.7	44.8	47.1	-2.3
		下旬	-3.3	0.7	-4.0	0.8	5.5	-4.7	-8.0	-4.4	-3.6	4.5	21.7	-17.2	2	2.8	-0.8	53.1	51.0	2.1
	12	上旬	-1.6	-1.0	-0.6	3.4	3.5	-0.1	-8.0	-6.3	-1.7	45.5	39.0	6.5	4	2.4	1.6	40.0	49.6	-9.6
		中旬	-6.2	-3.1	-3.1	-0.5	1.4	-1.9	-13.9	-8.8	-5.1	3.0	20.3	-17.3	1	3.1	-2.1	56.2	52.1	4.1
		下旬	-4.9	-4.1	-0.8	-1.5	0.3	-1.8	-10.8	-10.0	-0.8	20.5	24.9	-4.4	3	3.7	-0.7	36.3	52.6	-16.3
29	1	上旬	-6.9	-5.6	-1.3	-1.6	-0.9	-0.7	-14.7	-11.3	-3.4	0.5	14.3	-13.8	1	2.6	-1.6	47.2	51.7	-4.5
		中旬	-9.3	-7.9	-1.4	-3.3	-2.7	-0.6	-17.1	-14.8	-2.3	1.5	7.0	-5.5	2	1.7	0.3	51.8	59.4	-7.6
		下旬	-7.3	-7.0	-0.3	-2.8	-1.5	-1.3	-13.7	-14.4	0.7	17.5	13.3	4.2	3	2.3	0.7	47.4	56.7	-9.3
	2	上旬	-6.4	-7.1	0.7	-2.3	-2.0	-0.3	-12.6	-14.3	1.7	2.0	8.2	-6.2	1	2.3	-1.3	60.8	62.8	-2.0
		中旬	-3.4	-5.7	2.3	0.6	-1.1	1.7	-8.5	-12.5	4.0	5.0	15.2	-10.2	2	2.5	-0.5	39.7	54.5	-14.8
		下旬	-5.1	-5.2	0.1	-0.7	-0.2	-0.5	-11.3	-12.6	1.3	8.5	9.8	-1.3	3	2.3	0.7	55.5	49.4	6.1
	3	上旬	-3.0	-3.5	0.5	1.7	1.0	0.7	-10.4	-9.6	-0.8	10.5	27.6	-17.1	3	2.9	0.1	54.5	54.0	0.5
		中旬	-2.7	-1.1	-1.6	1.4	3.4	-2.0	-7.5	-7.0	-0.5	0.0	18.0	-18.0	0	2.8	-2.8	71.6	57.1	14.5
		下旬	-1.2	-0.3	-0.9	2.8	4.1	-1.3	-6.4	-5.5	-0.9	13.5	12.5	1.0	1	3.3	-2.3	65.3	65.9	-0.6
	4	上旬	2.5	1.9	0.6	7.2	6.3	0.9	-1.9	-2.8	0.9	1.0	40.1	-39.1	2	3.3	-1.3	62.4	51.8	10.6
		中旬	4.4	3.1	1.3	10.0	8.1	1.9	-0.6	-1.5	0.9	37.5	19.1	18.4	2	2.7	-0.7	62.9	54.1	8.8
		下旬	5.4	6.0	-0.6	11.8	12.4	-0.6	-0.2	0.1	-0.3	8.5	39.0	-30.5	3	3.3	-0.3	55.7	64.5	-8.8
	5	上旬	10.7	8.3	2.4	20.0	14.3	5.7	2.3	3.1	-0.8	5.0	44.7	-39.7	2	4.3	-2.3	93.4	51.6	41.8
		中旬	9.1	8.3	0.8	15.1	14.3	0.8	4.1	3.2	0.9	17.5	46.8	-29.3	2	4.5	-2.5	52.2	53.9	-1.7

備考) データはアメダス観測値(中標津). 平年値は前10カ年平均値.

Ⅱ. 当 場 作 況

1. とうもろこし

作況：－

事 由

耕鋤始は5月1日で平年より5日早く、播種床造成作業は順調に進んだ。播種は平年より4日早い5月19日に行われた。

品種名	播種日(月日)		
	本年	平年	比較
たちぴりか	5.19	5.23	△4
(ぱぴりか	5.19	5.23	△4)

注1)根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2)当場のとうもろこし作況調査は、平成22年度より供試品種を「たちぴりか」に変更している。

3)「たちぴりか」は、一部の作況調査項目について過去のデータ蓄積が不十分であるため、参考として「ぱぴりか」における調査結果を下段に記載する。

4) 平年値は、「たちぴりか」では全7カ年のうち最豊年の平成26年および最凶年の平成28年を除く5カ年の平均値、「ぱぴりか」では全7カ年のうち再豊年の平成22年および最凶年の平成28年を除く5カ年の平均値である。

5)△は減を表す。

2. 牧草
 (1) 採草型
 チモシー単播

作況：1 番草 並

事 由

根雪始が平年より 12 日早く、厳しい冷え込みがなく土壌凍結深が平年よりも 21 cm 浅かったことから、萌芽期は平年よりも 2 年目草地で 1 日、3 年目草地で 4 日早かった。雪腐大粒菌核は 3 年目草地でわずかに認められたものの、冬損状態は 2 年目草地で平年並、3 年目草地で平年より小さかった。5 月 20 日現在のチモシー草丈は、2 年目草地で平年と同程度、3 年目草地で平年よりも 5 cm 短かった。

以上のことから、現時点での作況は並と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-9甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「ノサップ」2年目	TY単播	4.24	4.25	△1	2.0	2.8	△0.8	30	30	0
「ノサップ」3年目	TY単播	4.24	4.28	△4	2.0	4.2	△2.2	24	29	△5

注 1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平年値：平成 22 年～28 年のうち、最凶年（2 年目草地：平成 28 年、3 年目草地：平成 28 年）と最豊年（2 年目草地：平成 22 年、3 年目草地：平成 27 年）を除く 5 ヶ年平均値。

3) △は減を示す。

(2) 放牧型

オーチャードグラス単播

作況：1 番草 良

事 由

根雪始が平年より 12 日早く、厳しい冷え込みがなく土壌凍結深が平年よりも 21 cm 浅かったことから、萌芽期はオカミドリの平年値と比較して 2 年目草地で 2 日、3 年目草地で 4 日早かった。雪腐大粒菌核病は認められず、冬損状態はオカミドリの平年値と比較して 2 年目草地、3 年目草地ともに小さかった。5 月 20 日現在のオーチャードグラス草丈は、2 年目草地で 30 cm（「オカミドリ」2 年目の平年値は 30 cm）、3 年目草地で 34 cm（「オカミドリ」3 年目の平年値は 22 cm）であった。

以上のことから、現時点での作況は良と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-9甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「ハルジマン」2年目	OG単播	4.24	—	—	1.0	—	—	30	—	—
「ハルジマン」3年目	OG単播	4.24	—	—	1.0	—	—	34	—	—
「オカミドリ」2年目	OG単播	—	4.26	—	—	4.0	—	—	30	—
「オカミドリ」3年目	OG単播	—	4.28	—	—	4.8	—	—	22	—

注 1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平成 25 年播種から供試品種を「オカミドリ」から「ハルジマン」へ変更した。「ハルジマン」の平年値はないため、参考として下段に以前供試していた「オカミドリ」の平年値（平成 18 年～24 年のうち、最凶年（2 年目草地、3 年目草地とも平成 21 年）と最豊年（2 年目草地、3 年目草地とも平成 22 年）を除く 5 ヶ年平均値）を掲載した。

平成29年度作況調査供試作物、品種および耕種概要

供試作物 および 品種名	1区 面積 (m ²)	施 肥 量 (kg/10a)						栽植様式
		堆肥	炭カル	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	
1. サイレージ用								畦間72cm
とうもろこし	11.5	4,000	300	8+4	20	6+4	3	株間18cm
「たちびりか」								7,716本/10a
2. 牧 草								
(1) 採草型								
TY「ノサップ」	14.0	4,000	300	7	24	15	9	30cm条播 播種量
		-	-	10	12	22	5	1.5kg/10a
(2) 放牧型								
OG「ハルジマン」	14.0	4,000	300	7	24	15	9	30cm条播 播種量
		-	-	10	12	22	5	2.0kg/10a

1) サイレージ用とうもろこしは、適応性検定試験の圃場。

2) 牧草は、2, 3年目草地を調査。採草型は年2回、放牧型は5回（各月1日）の刈り取り。

3) TY：チモシー、OG：オーチャードグラス。

4) 牧草の施肥量は、上段が造成年(1年目)、下段が2, 3年目草地を示す。